

南部の地域課題解決型フィールドワーク 募集要項

概要

三重県の南部地域(伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町及び紀宝町の13市町)においては、高校卒業と同時に地域外へ進学する若者が多くなっています。南部地域外へ進学した学生が地域に戻ってこない要因としては、就職先が少ないなどの要因の他に、南部地域外で学生生活を送る中では、出身地の情報が届かず、地域に関わる機会が少ないといった要因も考えられます。

そこで本事業では学生を募り、フィールドワークを通して南部地域の課題を知り、解決策を立案して実践することで、地域子どもたちと協力して人と人、人と地域などの「つながり」や地域への愛着を深めることをめざします。

今回は度会町と鳥羽市神島で、それぞれの地域の課題に合わせたテーマやミッションを設定しています。参加学生は、夏休み(9月)から春休み(2月)の間に複数回に分けて、のべ14日間のフィールドワークを行います。

フィールドワークには、南部地域の出身者に限らず、南部地域での暮らしや仕事に興味のある学生なら誰でも応募できます。積極的に地域での活動に取り組むことで、解決策の立案・実施などアウトプットする経験や、地域ならではの人の温かさに触れる経験をします。これらを通し、南部地域の魅力を発見し、地域のファンになってもらうことを期待します。

実施フィールド① 度会町【受け入れ人数:3名程度】

度会町は、町の中を清流で知られる「宮川」が流れており、その流域には豊かな自然と美しい景観が広がっています。気候条件を生かしたお茶や水稻の生産が盛んで、茶畑と山の緑、清流の青が調和した美しい町です。

また、宮川のほとりには広大な芝生広場を有している「宮リバー度会パーク」があり、春には花見、夏には遊水プールなど、老若男女問わず、季節にあったイベントを楽しむことができます。この恵まれた自然を活かしたアウトドアアクティビティが盛んで、日中は「わたらいセブンマウンテン」での登山や宮川でのSUPなどが体験でき、夜には、満点の星空を眺めることができます。そんな町のキャッチフレーズは「自然、体験。度会町」です。

<ミッション>

古民家を活用し、世代を越えた交流を創出する

度会町には伊勢神宮にゆかりを持つ歴史ある資源や四方を囲む山や宮川をフィールドとしたアウトドアアクティビティなど、魅力的な観光資源があります。一方で、年間400万人が訪れる多気町のVISONや、伊勢神宮のある伊勢市の間という立地でありながらも、観光客の多くが周遊してきていない状況です。また、町内に宿泊施設が少なく、周遊した場合であっても、日帰りとなるケースが多く、町内での経済効果は高いとは言えません。

こういった地域課題を解決するために度会町では空き家問題に対して新たな取り組みを行うべく、地域おこし協力隊を中心に宿泊施設の充実等の検討が進んでいます。

そこで、フィールドワークをとおり、地域の魅力や観光資源を若者の視点で発掘し、若者らしい発想と行動力で、課題解決策を立案し、実践します。

<コーディネーター>

木崎高志さん

度会町地域おこし協力隊(ミッション:空き家関係(利活用、空き家バンク制度全般、移住定住の促進)等)

—— 略歴 ——

高知県香南市出身。高校卒業後、大阪に移住し、会社員として20年以上生活。環境を変えてみたい、会社員以外のことをやってみたいと思い立ち、度会町移住体験会に参加。自然が多く、不便さを感じず、人の温かい度会町の魅力に惹かれ移住を決意し、2023年から度会町地域おこし協力隊として活動中。

—— 学生へのメッセージ ——

鉄道が通っておらず車が必須な町ですが、そんな課題ばかりではなく、自然をはじめとした魅力がたくさんある町だと思います。私もまだまだ度会町の新参者なので、一緒に考え、一緒に悩んで、良い経験になる活動になればうれしいです。

<コーディネーター>

原洋隆さん

度会町地域おこし協力隊(ミッション:地域資源を活かしたアウトドアコンテンツの創出 等)

—— 略歴 ——

大阪府東大阪出身。介護施設管理者の傍ら、今後の生き方や子育てに疑問を抱く。やがて自給自足に興味をもち、度会町の地域おこし協力隊の募集が「地域資源を活かしたアウトドアコンテンツの創出」であったことから、自分の目的(狩猟や農業、薪を使った生活などの、いわゆる昔ながらの生活)が、度会町の魅力を引き出すのではないかと考え応募。2024年から度会町地域おこし協力隊として活動中。

—— 学生へのメッセージ ——

どちらか片方だけではなく、お互いにやってよかったと思えるような、満足度の高い活動になればと思います。

実施フィールド② 鳥羽市・神島【受け入れ人数:3名程度】

神島は、伊勢湾口に浮かぶ鳥羽市の有人離島。島の周囲にはカルスト地形特有の断崖が連なり、雄大な景観を作り出しています。

また、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台となった島として全国的に知られています。現在でも、潮騒に登場する灯台や監的哨跡などが残り、文学ファンにとっては聖地巡礼の地ともなっています。自然の造形美と文学の香りが融合した、魅力的な島です。

<ミッション>

若者の行動力で、地域資源を発掘・発信する

神島は「潮騒」の舞台として、今もファンが多く訪れています。一方で、島内では人口減少や高齢化により、地域資源の管理が困難となっており、また未だ知られていない魅力が眠っている可能性が考えられます。

そこで、フィールドワークをとおり、若者の目線と行動力で地域の観光資源を再発見・再定義し、島を訪れる方が神島のさらなる魅力を知ることができるよう、企画を考え、実践します。

<コーディネーター>

寺田勝昭さん

寺田林右衛門本店 代表

—— 略歴 ——

三重県鳥羽市神島出身。2022年、コロナ終息を機に故郷神島へ戻る。月の大半を島で暮らし、塩作りを生業とする。神島の塩を作りながら、太陽信仰の聖地である神の島を全国、そして世界へ発信するために、来島された方々へ歴史、伝説逸話を語りながら案内しています。

—— 学生へのメッセージ ——

一日四便しかない、悪天候になると欠航も多い不便な島ですが人間の営みが代々変わらず続いている浄化の島です。神島のこれからを若い人たちと一緒に、変わらない・変わらなければならない島の将来を、継続できるように取り組んでいただきたいと思います。

スケジュール

<ステップ0> 事前に調べる

8月中旬 事前課題の実施

8月下旬 キックオフミーティング(オンライン、18:00~19:30)

<ステップ1> 地域の人から、一次情報を収集する

9月 フィールドワーク①

10月上旬 ブラッシュアップミーティング①(2地域合同・オンライン)

<ステップ2> 課題を知り、解決策を考える

11月上旬 ブラッシュアップミーティング②(オンライン)

12月上旬 ブラッシュアップミーティング③(地域別・オンライン)

1月下旬 ブラッシュアップミーティング④(地域別・オンライン)

<ステップ3> 解決策を発表し、フィードバックをもらう

2月中旬~下旬 意見交換会(現地)

<ステップ4> 解決策をブラッシュアップさせて、自らの考えたことを実践する (地域の人から意見をもらいながら、試行錯誤する)

2月中旬~下旬 フィールドワーク②、実践活動

<ステップ5> 活動を振り返る

3月上旬 報告会(オンライン)

※ ステップ4のフィールドワークでは、参加者が提案した地域課題解決策を実践する活動を行います。

※ 活動期間中は、都度オンラインミーティングやコミュニケーションツールを活用し、振り返りや、次の行動を決めていきます。

※ 具体的なスケジュールについては、参加者と関係者の調整のうえ決定します。

◇各スケジュールの詳細

・キックオフミーティング(オンライン)

関係者全員で顔を合わせることで、事業の目的や心構えを共有します。今後の活動に向けて、目標設定を行って、チーム一丸で活動に取り組める準備をします。

・フィールドワーク(のべ14日以上)

実際に現地へ赴き、地域住民の生の声を聞きながら、地域の情報を収集します。また、地域で

活動している方からお話を聞くことで先行事例を学び、課題解決策のヒントを得ます。フィールドワークの後半ののべ7日以上を活用し、参加者が提案した地域課題解決策を実施します。

※フィールドワーク中は、運営者側が指定した宿泊施設に宿泊していただきます。

(宿泊施設は相部屋(男女は別)となることがあります。)

・ブラッシュアップミーティング(オンライン)

活動の振り返りを定期的に行うことで、新たな気づきや学びを獲得し、これからの行動を考えます。地域課題を整理し、取り組む解決策のたたき台をつくります。

・意見交換会(現地)

フィールドワークの中盤に、参加者が企画した実践活動案を地域の方々に説明し、フィードバックを受けることを目的とした意見交換会を実施します。

・報告会(オンライン)

フィールドワークの全日程が終了した後に、活動全体の総括として、コーディネーターや地域住民、市町職員等フィールドワーク関係者を対象とした活動報告会を実施します。

諸条件

- 社会のルールや地域でのマナーを守り、公序良俗に反することをしないこと
- 学外活動に対応した保険の加入(傷害・損害賠償)
例) 大学生協の学生総合共済、等

活動経費の支給

- 1) 現地までの交通費支給
- 2) 宿泊費(朝食や夕食を含む)支給
- 3) 現地での活動に要する経費支給(体験費等)
※予算に限りがあるため、事前に相談していただきながら使います。
- 4) 提案した地域課題解決策を実践するための活動に要する経費として、1地域あたり上限15万円を支給
※予算の使用には、事前に計画書を提出し、使途が認められる必要があります。

費用(参加者負担)

- 活動期間中の昼食費、任意での飲食代
- 保険加入費(保険に加入していない学生のみ)
- 規定外または予算上限を超えた場合の費用(できる限りないようにお願いします)

学生の募集について

- 1) 募集人数
各地域3名程度
- 2) 募集期間
8月8日(金)23:59まで
- 3) 応募資格
意欲のある県内外の大学生(短期大学生及び大学院生含む)、高等専門学校生及び専門学校生(南部地域出身者以外も、応募いただけます)

4) 応募先・応募方法

以下の応募フォーム(Google form)から応募してください。

<https://forms.gle/RAKBDHJowx5RVScZ9>

選考方法・結果の発表方法

【1次審査】 応募フォームの内容による書類審査

▶選考結果は1週間以内にメールにて通知します。

【2次審査】 オンライン面談(書類選考通過者対象)

▶1次審査結果通知メールにて、実施日時・方法を通知します。

最終的な選考結果は、8月18日(月)までにメールにて通知します。

■フィールドワークの内容に関するお問い合わせ先
株式会社Dream3.0(業務受託事業者)
〒510-0068 三重県四日市市三栄町3-17
TEL:090-9194-6663
E-mail:jimu@dreamstz.com